

共通教養科目 履修要領・教育課程表 (2014年度入学者から適用)

- (1) 卒業するために必要な単位数(卒業要件単位数)は、各学科で異なるため、各学科専攻科目の『教育課程表』で確認してください。また、**2** 共通教養科目卒業要件単位も参照してください。
- (2) 同一授業科目は、重複して履修することはできません。
- (3) 『授業時間割表』上で、科目名が赤字の共通教養科目は、履修制限を行う授業科目です。履修の許可は抽選によりますので、『学修スタートガイド』を参照して手続きしてください。
- (4) 「人間形成の分野」の「スポーツ文化」は、学内で基礎的な理論と技術・体力を身につけたうえで、適地で学外実習(実習費用が必要)を行います。

種目	ゴルフ(前学期)	マリンスポーツ(前学期)	スキー(後学期)
時 限	火曜日 3 限, 4 限	金曜日 2 限, 3 限	木曜日 4 限, 金曜日 1 限
定 員	各時限 20名	各時限 20名	各時限 20名
演習日	8月上旬 3泊4日	9月上旬 3泊4日	2月下旬 3泊4日
場 所	関東近郊ゴルフ場	江の島付近	北海道富良野
費 用	40,000円	40,000円	55,000円
備 考	コースで3ラウンドする予定	ヨットやカヤックを実施する予定	スキーとスノーボードを実施する予定 SAJ バッジテストあり

- (5) 履修方法の詳細については、本『履修要覧』とともに、『学修スタートガイド』『授業時間割表』『^{シラバス}Syllabus』を熟読してください。

1 共通教養科目の履修要領

工学部各学科によって、履修が許可されない科目は次のとおりである。

情報システム創成学科

- ・「情報化社会と人間」「情報化社会と人間」

建築学科

- ・「建築と都市」「建築と都市」

2 共通教養科目卒業要件単位 (各学科専攻科目の教育課程表もかならず確認してください)

機械工学科

共通教養科目 卒業要件単位

共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。

- 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。

電気電子情報工学科

共通教養科目 卒業要件単位
共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。また、自然の分野で卒業要件にできるのは、6単位以下である。 2 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語8単位のうち4～6単位を日本語とすることができる。

物質生命化学科

共通教養科目 卒業要件単位
共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。 2 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生および外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。

情報システム創成学科

共通教養科目 卒業要件単位
共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。 2 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。

経営工学科

共通教養科目 卒業要件単位
共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。 2 外国語科目については、必修科目として「工業英語Ⅰ～Ⅳ」を含め、英語を8単位修得しなければならない。

建築学科

共通教養科目 卒業要件単位
共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野からそれぞれ4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化Ⅰ～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。 2 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。

共通教養科目 卒業要件単位

共通教養科目から次の内訳で32単位以上修得すること。

- 1 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化 ～ 」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 2 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。

3 共通教養科目（外国語科目を除く）教育課程表

次ページを参照してください。